

「沼津市文化財保存活用地域計画（案）」に関する意見募集の結果について

「沼津市文化財保存活用地域計画（案）」についてパブリックコメントを実施しましたところ、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただきましたご意見の概要と市の考え方をお示しします。

1. 実施時期：令和6年3月22日（金）～令和6年4月22日（月）
2. 閲覧場所：沼津市ホームページ、沼津市役所（文化振興課、生活安心課）、市内各市民窓口事務所、市立図書館
3. 提出者数：4名
4. 意見数：4件
5. 提出された意見の概要及び市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方・対応	修正の有無
1	<p>一般社団法人 伊豆石文化探究会では、伊豆石の調査・研究の傍ら沼津市内の道祖神の全調査を行い、各種文献・ネット上の情報を元に沼津市内に 158 基の道祖神があることを確認しています。</p> <p>静岡県東部には多数の道祖神が存在していますが、残念ながら知る人は限られており、歴史の中に埋もれつつあります。沼津市文化財保存活用地域計画に、道祖神で協力させていただきたいと思います。</p>	<p>道祖神などの石造物の調査・保存については、計画の P106 の第 5 章第 3 節 1. 歴史文化資産を把握する [調査] (2) の項の B : 「滅失の危機にあると判断される近現代建造物、<u>石造物</u>については、優先的に詳細調査を進めます。」、及び P111 の第 5 章第 4 節 2. 歴史文化資産を守る [保存] (1) の項の 25 : 「解体処分の危機にある未調査の<u>石造物</u>や建造物の記録保存を行う。」とありますように、詳細な調査を実施し、その調査結果に基づいた適切な保存に努めてまいります。</p> <p>また、今後も文化財まちあるきマップに道祖神などの石造物を掲載することによって、広く市民に周知することを考えております。</p> <p>伊豆石文化探究会様については、計画の P165 の第 8 章歴史文化資産の保存・活用の推進体制 4. 関係団体など (2) に研究団体</p>	無

No.	意見の概要	市の考え方・対応	修正の有無
		<p>として挙げさせていただきましたとおり、今後の計画の推進にあたり、連携を取らせていただきます。</p>	
2	<p>P93 の第 3 章第 3 節 8. 文化人と沼津 (1)沼津ゆかりの文化人の項の「沼津藩主に求められ馬の彫刻を献上した彫刻師の舟仙の作品は今でも本市に残っています。」について質問します。</p> <p>質問 1. 沼津藩主のお名前を教えてください。質問 2. 作品はどこに保管されているのでしょうか。鑑賞することは可能でしょうか。個人の所有物である場合、沼津市が仲介に入り沼津市民向けに公開の労をとることはできるでしょうか。</p>	<p>舟仙が沼津藩主に彫刻を献上したというのはエピソードであり、献上した作品自体もあるのかがわからないため、計画の文章が誤解を与える内容でした。</p> <p>計画の「沼津藩主に求められ馬の彫刻を献上した彫刻師の舟仙の作品は今でも本市に残っています。」の表現につきましては、「沼津藩主に求められ馬の彫刻を献上したといわれる彫刻師の舟仙の作品は、今でも本市に残っています。」に修正いたします。</p> <p>こうした理由であるため、どの藩主なのか？どこにあるのか？というご質問にはお答えすることができず、申し訳ありません。</p> <p>なお、市内には舟仙作と伝わる馬の彫刻が何点かあるようですが、個人の所蔵であり、公開することは難しいと聞いております。</p>	有
3	<p>内浦が他地域との連携によって栄えた地域であることに鑑み、P146 の第 6 章第 3 節 4. 内浦湾周辺 (2)②方針の項の地域総がかりで取り組む[連携]に、P134 の第 6 章第 3 節 2. 興国寺城跡・白隠の里周辺 (2)②方針の項の地域総がかりで取り組む[連携]の C : 「歴史文化資産の活用における、富士市との連携を強化します。」にあるような、関連他市町村等との連携について記載してほしいです。</p> <p>それによって、今後の調査などの際に、協力の打診を円滑に進</p>	<p>他市町との連携については、計画の P109 の第 5 章第 3 節 4. 地域総がかりで取り組む[連携](3)の項の C : 「県や他市町と連携した保存・活用を推進します。」とありますように、沼津市の歴史文化資産の調査・保存・活用全般にわたり、強化を図る必要があると考えております。</p> <p>計画には 3 か所の文化財保存活用区域がありますが、他市との連携を具体的に記載しているのは、ご指摘のとおり興国寺城跡・白隠の里周辺の 1 か所のみとなっております。これについて</p>	無

No.	意見の概要	市の考え方・対応	修正の有無
	<p>めることができると思います。</p>	<p>は、沼津市と富士市が行政全般での連携協力の協定を結んでおり、文化財行政においても令和3年度から富士市と共同で講演会や企画展を開催していることから、富士市との連携を具体的に記載することにしました。</p> <p>内浦湾周辺においては、ご指摘のように、他市町等との生業・生活・技術・物流・信仰・文化等における密接なつながりが歴史的にあることから、計画の推進にあたっては、他市町等との連携を強化する必要があると考えております。具体的な内容や連携先の市町等については、今後検討を進めてまいります。</p>	
4	<p>今、長浜城跡の管理が高齢化で大変だという話を聞きました。ラブライバーや沼津移住グループでお手伝いできることが何かあるかもしれません。</p> <p>大川家・三津坂隧道・伊豆石も含めた観光コンテンツとラブライブをどう結びつけられるのか、ぬまづの宝 100 選のように、市民も参加できる意見会などが開かれると嬉しいです。</p>	<p>長浜城跡の維持管理については、計画の P145 の第 6 章第 3 節 4. 内浦湾周辺 (2)①現状と課題の項の地域総がかりで取り組む[連携]の A : 「高齢化の中、活動の継続性が不透明です。」とありますように、ご指摘のような課題を抱えている状態にあります。</p> <p>これに対して、P146 の②方針の項の地域総がかりで取り組む[連携]の A : 「地元団体などとの持続可能な仕組み作りを検討します。」とありますように、今後、皆様方のご協力をいただきながら、継続性が可能な維持管理体制の構築に努めてまいります。</p> <p>ご指摘のように、大川家長屋門・三津坂隧道・伊豆石の建造物などの歴史文化資産の一部は、アニメ「ラブライブ！サンシャイン！！」に登場しており、計画の P146 の②方針の項の歴史文化資産を磨く[活用]の E : 「「聖地巡礼」の観光客に対する、歴史文化資産の情報発信を図ります。」とありますように、歴史文化資産を観光資源として活かすことができるような情報発信に努め</p>	無

No.	意見の概要	市の考え方・対応	修正の有無
		てまいります。その具体的な方法については、市民のご意見を伺いながら検討を進めてまいります。	